

世界水遺産とは

○世界水遺産の対象及び目的

世界水遺産(World Water System Heritage)は、人間社会と環境との共生に貢献する人々によって培われてきた歴史的な水管理システム・組織・規約を、無形遺産に登録・表彰する制度。登録対象範囲は、飲用水・農業・工業・発電・水運・環境保全・漁業・洪水管理・防災・下水処理・衛生など全ての水分野。歴史的に確立・実証されている運営手法や組織の真価を認め、これらを成功に導いた要因を発掘し取りまとめることが主な目的。

○主催団体

主催団体は、世界最大級の水関連イベントである世界水フォーラムを主催する「世界水会議」。

○世界水遺産必須要件

- ・ 100年以上経過
- ・ 地域コミュニティの知恵及び努力により作られたもの
- ・ 多様な人々への関与
- ・ 地域の社会経済発展に貢献

○申請者

世界水会議の会員ほか、登録を希望する水に関係する団体

○認定スケジュール

本年11月に開催される世界水会議創立20周年記念イベント(於 フランス・マルセイユ市)にて、本制度の立ち上げと第1号登録が行われる予定。

○世界水遺産運営組織

